



## 「意識すること」

校長 上垣 啓介

今年もまもなく節分を迎えます。大寒には、暦通り大寒波が押し寄せ、久しぶりの空気の冷たさを感じました。そんな折、2年生は館岩少年自然の教室に出かけ、大寒波がもたらした最高のコンデションの下、3日間のスキー実習を楽しんできました。私は、応援で出かけた体育科教員に代わって、3日間体育の授業を受け持ちました。久しぶり吸った空気は、とても冷たかったですが、いい空気を吸うことができました。体は筋肉痛ですが心地よい疲れで、3日間美味しいお酒を飲むことができました。1・3年生の男子に感謝します。

さて、学校だよりを「書く」のもというより、「書ける」のもと言った方がよいかもかもしれません。今回が終われば残り1回となりました。毎回何を書こうか悩みます。私の場合は、そのことを常に考えていないとテーマが決まりません。しかし、何を書こうか考えている時は、きまって何も浮かんでこないのが常です。何かの瞬間、「あっ、これだ」と思い浮かぶことがほとんどでした。一昨年9月に書いた「水の流れに身を任せ」では、川で滑って流されて岸に上がった瞬間に、昨年9月の「迷い」では、アユをとり逃した瞬間に、先月号の「余白」では、ハンバーグの試食のお皿の盛り付けを見た瞬間に、それぞれのテーマが思い浮かびました。常に何かを考えていると疲れるのではと思う人もいますが、疲れるほど考えているわけではありません。考えるというよりも、「意識している、意識にある」という感覚でしょうか。30余年にわたり続けている焼き物づくりにおいても、次はどんな形のものを作ろうか、どんな文様にしようかということは、常に意識しています。私の場合は、そういった意識を持ち続けていることで、そのことに対するモチベーションを保っています。

作家の浅田次郎さんが小説を書くためのモチベーションを維持するために、土日は競馬場に通っているという話を聞いたことがあります。浅田さんいわく、自分の場合は、競馬の予想と小説の執筆は、脳の中の同じ部分を使っているように思う、休日に何も考えないでいると、モチベーションが落ちてしまい、それをまた、一定のレベルにするのは大変なことであるということでした。その話を聞いて、自分も同じだなと思いました。継続して何かにとり組むためには、モチベーションの維持は大変重要なことだと思っています。まさに「備えあれば憂いなし」です。

3年生は一部を除いた私立入試が終了し、公立入試に向けた最後の一个月を過ごしています。ぜひ、時間を有効に使い頑張ってもらいたいと思っています。私たちも子どもたちのモチベーションが落ちないようにバックアップしていくとともに、細心の注意を払っていききたいと思います。

最後に、入試に向け、3年生に送ったメッセージを紹介し、本号を閉じます。

**「可能性を信じる 緊張を味方に そして集中」**



**【教師にとって授業が一番】**

学校教育目標

**輝く命 生きる力**

目指す生徒像

気迫ある生徒

目指す教師像

気概に満ちた教師

目指す学校像

活気ある学校

### 3 学期始業式 校長式辞 1 月 6 日 (金)

校長先生の講話では、「決断」をテーマに話がありました。青山学院駅伝部の原監督就任時のエピソードをもとに、人が生きていく過程で決断をすべき時期があること。目標を掲げ、計画を立てることの重要性などの話とともに、生徒達に「無駄だと思われることにも細かな努力を積み重ねること」「決断をするための力をつけること」などを望む話がありました。



【人生は決断の連続】

### とうちゃれ オリジナルクッキー作り 1 月 1 4 日 (土)

今月は学習会後に地域の高橋京子さんを講師に招き、バレンタインデーのお菓子作りを行いました。「オリジナルのクッキーを作れてとても楽しかった。(1年谷内)」「クッキーのデコレーションが楽しく、みんなのデコレーションを見て、おもしろかったです。(2年谷田部)」「自分の好きなお菓子を作ることができて良かったです。(2年西塚)」講師の高橋さんからは「子供たちの集中した顔が素敵でした。色々なことにチャレンジしてください。」というお言葉をいただきました。



【手作りクッキー】

### 会食サービス (吹奏楽部) 1 月 1 4 日 (土)

吹奏楽部2年生駒井結さん、1年生森香桜さん、平井涼日さん、酒巻芽明さん、山口結愛さんの5名が参加してくれました。「おいしいご飯を食べながら、地域の方と話すというのは貴重な体験でとても楽しかったです。(駒井)」「演奏をさせていただき、喜んでいただいたので感謝の気持ちをもっていきたいです。(森)」「食事をしたり、歌ったり貴重な体験ができました。今後も地域のみなさんと触れ合っていきたいです。(平井)」「演奏を披露する時、温かく見守ってもらい、リラックスして演奏ができました。(酒巻)」「最初はどんなことを話題にすればよいか不安でしたが、最後は笑顔で帰ってもらって良かったです。(山口)」



【楽器の演奏を披露】

### 館岩自然の教室 1 月 1 6 日 (月) ~ 1 8 日 (水)

2年生は1月16日から2泊3日で、南会津にあるさいたま市立館岩少年自然の家及びたかつえスキー場において自然の教室を実施しました。直前の寒波の影響もあり、白銀の世界でスキー実習、雪国体験などを満喫してきました。宿舎での生活では、実行委員を中心に各委員会が食事、入浴、清掃などの活動をしっかりとこなし、スムーズに生活することができました。実行委員長：小林菜々海の感想「私は今回の自然の教室で学んだことがあります。初めての宿泊行事ということで、実行委員も慣れないことに慌てることも多くありました。しかし、学年全員で協力し、3日間を有意義に過ごすことができ、改めて『協力』の大切さを学びました。このことを普段の生活にも生かして、よりよい学年にしていきたいと思います。」



【スキーを十分満喫しました】



【山頂からの景色は最高！】



【キャンドルファイヤー】



【仲間との宿舎での生活も良き思い出】





## 生徒会朝礼・シェフ給食 1月26日(木)

【委員会の発表・鎌田シェフのあいさつ】

生徒会朝礼では、保健委員会から「インフルエンザの予防について」、2年学級委員会から「自然の教室の報告」、生徒会長からは「シェフ給食の意義」などの話があり、会の最後に料理をしてくださるシェフの自己紹介及びメニュー紹介がありました。今回は、新都心にある「アルピーノ」の鎌田シェフに依頼して、シェフ給食が実施されました。豚肩ロース肉のコルドンブルー、ポタージュガルピエール、ブロッコリーソテー、ソフトフランスパン、かぼちゃのプリンなどがメニューとして出されました。いつもおいしい給食ですが、ひと手間かかった味に生徒達も満足の様子でした。当日は、清水さいたま市長が来校し、3年1組の教室で楽しく会食をしていかれました。「シェフ給食はいつもの給食とはまた違いおいしかったです。特に、メインの肉料理とかぼちゃのプリンがおいしかったです。みんなもおいしそうに食べていました。鎌田シェフありがとうございました。(2年給食委員長 宇田川明泉)」「おしゃれなメニューでおいしかったです。特にプリンは2層になっていて『これ給食なの?』と思うほどでした。フランス料理をいただけて良い経験になりました。

(2年 長瀬陽)



【鎌田シェフ、1年4組での会食の様子】

## 3学年 受験への決意表明「学年寄書」を作成

3年生学級委員会の発案で、受験に向かう緑学年の決意表明するために学年全員で寄書を作成しました。寄書中央には校長先生から「可能性を信じろ 緊張を味方に そして集中」という3年生へのエールを書き入れてもらいました。進路が決定した生徒もいますが、学年みんなの進路が決まるまで、ともに頑張ってください。



【緑学年の決意表明】

## 部活動等の記録



・女子バスケットボール部

第14回郡山フェスティバル大会 第1位 ・第24回WHITE CUP新潟 第1位

・男子バスケットボール部 さいたま市冬季大会 2回戦惜敗

・剣道部 さいたま市冬季大会 男子団体I部 第5位、男子団体II部、第3位女子団体I部 第3位



「不動心」の旗のもと  
揺るぎない信念をもって  
日々稽古に励みました。

・平成28年度薬物乱用防止啓発ポスターコンクール 埼玉県薬剤師会長賞 3年 加藤由香

・埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール入賞 2年 植村 里彩

